「令和７年度公営企業予算編成過程の公開」に対する市民意見の内容及び市の考え方

「令和７年度公営企業予算編成過程の公開」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

いただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表します。

なお、ご意見については、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、一部要約又は分割して掲載しておりますのでご了承ください。

１　募集期間

令和６年12月10日（火）から令和７年１月６日（月）

追加及び変更分

令和７年１月10日（金）から令和７年１月20日（月）

２　意 見 数　36 件（うち追加分　２件）

３　提出方法　電子メール 36 件

４　意見の内訳

⑴ 新規・拡充事項　(18 件)

⑵ その他　(18 件)

名古屋市交通局企画財務部財務課

２　交通局への意見に対する市の考え方について

（１）新規・拡充事項

鶴舞線可動式ホーム柵の整備について　１件

・手動運転のままホーム柵を設置するのは停止位置の修正増加が懸念されるため、一刻も早い鶴舞線全線のATO化をお願いしたい。
（市の考え方） 自動列車運転装置（ATO）の設置につきましては、様々な形式の車両があり、車両改造をしてもATOを搭載することができない車両があるため、困難です。

地下鉄構造物の耐震補強について　２件

・東山線地上部の上社・本郷間は植田川の真上を走行しているが、豪雨が発生して植田川が氾濫した場合に危険性があるのではないか。豪雨災害も想定した補強工事を進めてほしい。 ・耐震補強の他、早期地震警報システムとATCとの連携も引き続き検討してほしい。
（市の考え方） ・地下鉄高架部の基礎杭は、植田川の河床より地中深くにあることから、植田川が氾濫したとしても、地下鉄構造物が影響を受けるものではないと考えております。いただいたご意見は、今後の災害対策を検討する際の参考とさせていただきます。 ・早期地震警報システムを受信した場合は、運転士の操作により直ちに停止させるという取扱いをしており、その対応訓練も実施し安全確保に努めています。早期地震警報システムとATCとの連携については、今後他事業者の動向を踏まえ研究してまいります。

地下鉄車内カメラの設置について　１件

・車両の検査時にしか車内カメラの設置を行えないなどの事情があることは承知しているが、もう少し早く設置を進めてほしい。
（市の考え方） お客さまのご利用が多い東山線において、令和 10 年度までに全車両への設置を予定していますが、スピード感を持って進めてまいります。

バス車両の更新について　１件

・ここ数年ほど同じ会社のバス車両が導入されているが、大型車両については、競争入札ではなく随意契約により、今後も同社の車両を導入してほしい。
（市の考え方） 市の契約締結方式については、競争性、公平性、透明性の観点等から原則として一般競争入札としており、令和7年度に更新を行う市バス車両の購入契約についても、一般競争入札により契約業者を決定する予定です。

地下鉄車両の更新について　２件

・利用者の意見を反映させながら、名城・名港線らしい車両になるよう努めてほしい。 ・名古屋市の地下鉄と言えば、黄色のボディが良い。外観デザインは昔の黄電をベースに開発してほしい。
（市の考え方） いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

地下鉄駅構内トイレのリニューアルについて　１件

・古くて暗い所が多いので、全駅実施してほしい。
（市の考え方） 訪日外国人、高齢者をはじめ、誰もが快適に駅構内トイレをご利用いただけるよう、全ての駅の便器の洋式化や温水洗浄便座の設置等を進めております。

定期券ＷＥＢ予約サービスの導入について　１件

・他社線との連絡定期券も定期券WEB予約サービスで購入できるようにしてほしい。
（市の考え方） 他社線との連絡定期券も定期券 WEB 予約サービスで購入できるよう開発を進めております。

キャッシュレス化の推進について　２件

・クレジットカードタッチ決済及び二次元コードを使用した乗車券の導入は他の鉄道事業者でも進んでいるため、名古屋鉄道株式会社と歩調を合わせて早急に全駅での整備を行ってほしい。 ・一日乗車券のキャッシュレス化も検討してほしい。
（市の考え方） クレジットカードタッチ決済及び二次元コードを使用した乗車券の導入につきましては、相互直通運転を実施している名古屋鉄道株式会社と連携して、検討を進めてまいります。 さらなるキャッシュレス化の推進につきましても、今後とも引き続き、新たな方策の研究・検討を進めてまいります。

地下鉄駅ホームの冷房化について　１件

・早急に実施してほしい。
（市の考え方） 地下鉄駅ホームの冷房設備につきましては、現在目標としている乗車人員1万人以上の駅を中心とした整備に着実に取り組んでまいります。

照明のＬＥＤ化について　１件

・蛍光灯を使用している駅が多いため、蛍光灯の製造が終了する前に早くLED化を進めてほしい。また、他事業者と比べて駅構内が暗いと感じるため、LEDへの更新時に明るさの見直しをお願いしたい。
（市の考え方） 駅構内の照明 LED 化については、国の方針を受け、令和 12 年度までの完了を目標に、予算の平準化も図りながら、計画的に進めているところです。合わせて、駅構内の明るさについても、国の基準を踏まえ、十分な明るさを確保していきます。

デジタルサイネージ広告の設置について　１件

・東山線 5050 形の一部編成だけでなく、他路線の車両にも設置を拡大してほしい。また、今後導入予定の名城・名港線及び桜通線の新型車両には最初から設置してほしい。
（市の考え方） まずは東山線車両への設置拡大に取り組み、その実績やニーズの動向を踏まえて、今後の事業展開を検討してまいります。

戦略的な利用促進策の展開について　２件

・他社線の乗車券と組み合わせた割引チケットや、他事業者の商品特典として一日乗車券類を割引料金で販売することも利用促進策の一つとして検討してほしい。 ・イベント開催時には、単に駅ポスターで企画告知を貼るだけでなく、これらのタイアップやプロモーション活動として、ラッピング電車やバスを走らせてほしい。また、市役所や市政資料館において映画やドラマの撮影が行われた際には、当該作品のPRラッピング車両も走らせてほしい。
（市の考え方） いただいたご意見を踏まえ、多くのお客さまに喜んでいただけるよう、今後も魅力向上に努めてまいります。

電気バスの試行導入について　２件

・公営交通として、国内メーカー国内生産の車両を導入してほしい。また、充電に使う電力は再生可能エネルギー源とするなど、脱炭素化に繋がる積極的な取組みをしてほしい。 ・海外では電気バスが発火・炎上するというニュースをよく聞くため、不安を払拭するよう電気バスの安全性について広報してほしい。
（市の考え方） 購入する電気バスの仕様等につきましては、安全性の観点も含めて検討してまいります。なお、電力調達は、再生可能エネルギー源による電力も含め、一般競争入札を実施しています。

（２）その他

地下鉄駅における人身事故抑制について　１件

・ホーム柵の整備だけでは、線路内への故意の侵入による人身事故を防ぐことができないため、AI警備システムなどの導入により人身事故の抑制に努めてほしい。
（市の考え方） ご提案のような AI を用いた対応策につきましては、日進月歩で技術向上が行われており、今後とも情報収集に努めてまいります。

黄電車両の保存について　１件

・他事業者に譲渡した黄電を、譲渡先での廃車後に買い戻し、名古屋市で保存してほしい。
（市の考え方） いただいたご意見につきましては、今後の事業運営の参考にさせていただきます。

東山線保安装置について　１件

・保守作業の効率化による職員の負担低減、信号故障による輸送障害削減及び遅延回復効果の向上を図るためにも、無線式列車制御システム（CBTC システム）の導入を検討してほしい。
（市の考え方） 新たな技術による保安装置の導入については、輸送サービスの向上や、保守作業効率化の観点などから、引き続き情報収集を進めていきます。

地下鉄駅の清掃について　１件

・駅リニューアル後の清掃が行き届いていないと感じるため、床面等水拭きのモップ掛けを徹底し、綺麗な状態を維持してほしい。
（市の考え方） 日常的に駅構内の清掃を実施しており、綺麗な状態を維持し、お客さまに快適に地下鉄をご利用いただけるよう努めてまいります。

市バス出入庫系統の系統番号について　１件

・出入庫系統の市バスには系統番号が付与されておらず分かりづらく感じるため、分かりやすさの向上のために系統番号を付与してほしい。
（市の考え方） 出入庫系統は起終点を用いて名称を設定していますが、よりわかりやすい表示について検討してまいります。

地下鉄駅改札口の旅客案内表示装置について　１件

・久屋大通駅の南改札口から桜通線をよく利用するが、旅客案内表示装置が名城線のものしかないため、桜通線のものも設置してほしい。交差駅の主要な改札口では、利用者の利便を考慮し、各路線の表示装置を設置すべきではないか。
（市の考え方） 　地下鉄の改札口におきましては、主として改札内の直近にあるホームの旅客案内表示装置を設置しております。いただきましたご意見を参考にさせていただき、よりわかり易い案内表示が行えるよう努めてまいります。

地下鉄駅への床サインの積極的な導入について　１件

・多客駅の混雑対策として、床サインの積極的な導入を図ってはどうか。
（市の考え方） 　床サインについては、女性専用車両の案内やエレベーター誘導案内のラインを整備するとともに、一部の駅において、地下鉄の乗換案内を試行的に行っています。試行した案内表示について、お客さまからは、他の駅でも実施してほしいなどのご意見をいただき、一定の効果があったものと考えております。 　一方で、混雑時には表示内容を確認しづらいことや、多くのお客さまが通行すると案内表示が損傷しやすいなどの課題も認識しております。試行での課題を踏まえながら、他事業者での事例を参考に、床サインの導入を検討してまいります。

戦略的な情報発信について　１件

・現在、交通局ウェブサイトの各ページには SNS へのリンクが設置されていないが、設置することで、一般のユーザーによる SNS での交通局事業の情報発信の増強に繋がるため、実施してほしい。
（市の考え方） 　SNS は重要な情報発信ツールであり、積極的に活用していきたいと考えております。 　いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

地下鉄の車内啓発について　１件

・よく利用する東山線では、乗車時に扉付近に立ち止まる乗客（特に学生）が多いため、扉付近で息苦しい状態で留まらざるを得ない他、途中駅での乗降にも支障が出ることもあり、甚だ困っている。扉付近に塊になって立ち止まらずに車内の奥まで詰めるよう、車内や駅構内での放送のみならず、学校との連携も含め、啓発活動をより一層強化してほしい。
（市の考え方） 　交通局では、日頃より、駅構内及び車内におけるマナー啓発放送、ポスターの掲出、LED 表示な

どにより、他のお客さまにご迷惑となるような行為はご遠慮いただくよう、マナー啓発を行っております。

利用マナーの向上には、お客さまのご理解とご協力が必要不可欠と考えていますので、今後、学校への啓発活動を検討するなど、マナー啓発に努めてまいります。

深夜バスの再開について　１件

・コロナ禍が始まった令和２年から深夜バスが無期限休止となっているが、いつまで休止を続けるのか。

（市の考え方）

市バスの利用者数は、現在もコロナ禍前（令和元年度）を下回っており、深夜時間帯（22 時以降）の利用者数は他の時間帯より減少傾向が高い状況にあります。

このため深夜バス運行の再開の可否については、深夜時間帯における市バス・地下鉄の利用状況、市中心部における深夜時間帯の滞留人口の状況、社会情勢等もふまえたうえで検討していく必要があると考えています。

地下鉄のダイヤ改正について　３件

・各号線について、運転間隔を短くしてほしい。

・東山線の増便をお願いしたい。

（市の考え方）

地下鉄のダイヤ改正については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や生活様式の変化により、乗車人員が大きく減少したことから、お客さまの利用動向の変化に対応した見直しを行ってきました。

現在でも、乗車人員は依然としてコロナ前の水準までは回復していないものの、コロナの影響から徐々に回復傾向にあり、乗車人員は増加していく見通しを立てていることから、利用状況を踏まえて、令和７年３月に東山線を、令和７年９月に名城・名港線のダイヤ改正を実施する予定です。

その他の鶴舞線や桜通線をはじめ、ダイヤ改正を予定している東山線と名城・名港線も含めて、今後も利用状況を注視し、必要に応じてダイヤ改正を検討します。

地下鉄駅構内における携帯電話の通信環境について　１件

・鶴舞線を中心に携帯電話の通信状況が悪いと感じるため、改善してほしい。

（市の考え方）

地下鉄駅構内における携帯電話設備については、通信事業者が設置しています。

交通局としましても、通信環境の改善に向けて、通信事業者の取り組みに協力してまいります。

ＳＲＴと既存の市バス路線との差別化について　１件

・令和７年度より「SRT」の運行が名駅・栄間で始まる予定だが、この区間では既に多数の市バスが走っており、広小路通のかなりの区間で重複すると思われる。SRT と既存市バス系統との差別化について、交通局としてどのように考えているのか。
（市の考え方） 計画されている SRT の運行は、都心部の限られたバス停のみを取扱うことや週末を基本とするなど市バスとは異なるコンセプトで設定されています。 このため市バス系統との差別化に関しては、SRT 運行開始後の利用状況等を踏まえた上で検討する必要があると考えています。

燃料電池バスの導入拡大について　１件

・バス車両への燃料電池バスの導入を拡大してほしい。
（市の考え方） 市バスの電動化については、令和５年度に運行を開始した燃料電池バス１両に加え、令和７年度に電気バス 1 両の試行導入を予定しており、それぞれの運行を通じて、コスト面、運用面等の課題について検証を行い、今後の導入拡大について検討する予定としていますので、現時点では燃料電池バスの追加導入は未定です。

料金について　１件

・多くの鉄道事業者が運賃値上げに踏み切っている昨今において、将来にわたって安定的に交通サービスを提供し続けるため、必要であれば料金値上げを検討してほしい。
（市の考え方） 将来にわたって安定的に交通サービスを提供し続けるため、収入増加策の展開や事業運営の省力化・効率化などの経営改善に努めるとともに、人材の確保や職員力の向上を図ります。 料金については、事業の採算性、市民・利用者の負担、他事業者の動向などを考慮しながら決定していますが、利用動向やニーズの変化を踏まえつつ、今後も研究・検討を進めていきます。

安定的な人材確保のための取組みの実施について　１件

・バスの運転士や鉄軌道系職員の人手不足が全国的に深刻となっているが、人手不足解消のため、採用の大幅拡充策を実施すべきではないか。
（市の考え方） 大型第二種免許未取得者を対象とする市バス運転士採用選考については、全国的に大型第二種免許の所有者が減少していることを受け、市バス運転士として働く意欲のある方を発掘し、若年層の運転士を確保するため実施しています。 現在は、正規職員として採用後に免許取得費用を助成していますが、会計年度任用職員として

採用後に公費で免許を取得させ、その後正規職員へ採用する制度へ変更し、免許取得費用の個人負担の軽減を図り、応募しやすい環境を整えていきます。
　また、ホームページによる採用 PR や採用選考説明会を実施する等の広報活動を実施し、引き続き人材の確保に努めていきます。

※ご意見については、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、一部要約又は分割して掲載しております。